

— コ ラ ム —

国際会議の紹介：AES

安谷屋 武 志*

American Electroplater's Society と呼ばれ、1909 年に創立しているので一昨年 ('84 年) で 75 周年いわゆる Diamond Jubilee を迎えた。対象分野は単に電気めっきのみならず表面処理全域をカバーしており、日本の金属表面技術協会 (略称金表) と同様な立場にある。金表が昨年 ('85 年) 35 周年を迎えているので約 2 倍の歴史を持つことになる。会員数は約 9000 人、金表の 3500 人と比べるとかなり多いように思われるが、人口比を考えれば同様な勢力と考えられる。会誌は Plating and Surface Finishing というのを毎月発行している。AES には会誌の発行のほか、Technical Education, Technical Activities, 年会開催などの機関があるが、この中で Technical Education に多くの力が注がれているのが一つの特徴といえる。会誌は日本でも多くの表面処理技術者に愛読されているので説明は省きたい。年会は AES SUR/FIN と呼ばれて毎年 6 月か 7 月に大都市のまわり持ちで行われている。昨年は 7 月 15 日～18 日 Detroit の Cobo Hall にて行われた。セッションには Plating on Plastic, Mechanical Finishing, Decorative, Environmental, Research, Light Metals, Electroless, Organic Finishing, Electronics, Alloy Plating, Statistical Methods などがあり、日本からの 2 件を含めて 77 件の発表があつた。出席者は例年 700 人程度で日本からも 20 人前後の参加者がある。

鉄鋼の表面処理技術者にとって現在最も重要な Meeting は Technical Activities に属する Continuous Strip Committee により企画される Continuous Strip Plating Symposium であろう。別表にこれまでの開催状況をまとめた。第 1 回が鉄の町 Pittsburg で '74 年に開催されて以来 3～4 年ごとに開かれ、'84 年第 4 回大会が Chicago で行われた。この Symposium は AES 主催であるが、講演者は世界各国から集めており

International な性格を持っている。内容は表からもわかるように電気めっき主体である。逆に対象を鉄鋼の連続めっきに絞った International Meeting はこれしかないと思われる。筆者も第 3 回、4 回と講演のチャンスを得たが、有意義な Meeting であつたと思う。雰囲気は昨今の鉄鋼協会の表面処理セッションに似ている。別表の発表内容の推移から時の流れがわかる。最も顕著なのが EG およびその合金めっき技術の伸びで、0→1→6→13 件となつており、第 4 回大会では全 19 件中 13 件というまさに EG と合金のための Meeting の感があつた。その中に日本の 5 件があり、この分野の日本の活力を感じた。

今後の予定としては、年会は今年 ('86 年) 73 回大会は 7 月 23～26 日 Philadelphia, '87 年 74 回大会は 7 月 13～16 日 Chicago で開催されることが決まっている。この中で '87 年 74 回大会は Union に呼びかけ、International Conference の形式にしたい意向である。日本の金表にも働きかけがあり協力を了承した。従つて '87 年大会には論文発表、展示、聴講に例年より多くの日本よりの参加者が期待される。

Continuous Strip Plating Symposium は次回いつ開催されるか現在不明であるが、'87 年か '88 年になると思われる。実はこの Symposium も '84 年の第 4 回大会で前述のように日本の比重が高かつたことで夜のレセプションの席上有力な大会委員から半分冗談に次回は日本でやろうかとの話も出た。鉄鋼協会の表面処理セッションも最近活発になり開かれてきた感はあるが、米国との Joint Meeting をやれば国内の方も更に活況を呈すると思われる。

最後に今後日本の鉄鋼業は高付加価値化を目指し表面処理製品の比重を高めていくことは必至と思われるが、その場合我々が関心を持たなければならない最も手近かな学協会といえば日本の金表であり米国の AES であると思われる。そこには非鉄、非金属から電子材料まで広範囲な表面物性および表面処理が扱われている。これらの学協会とより関係を深めることはお互いに大変有意義なことと思われる。

AES Continuous Strip Plating Symposium のこれまでの歩み

回	開催年月	場 所	発 表 内 容 (件 数)						備 考
			ぶりき	TFS	Hot Dip	EG, 合金	他	General	
1	1974 年 9 月	Pittsburg, William Penn Hotel	4	2	1	0	6	2	Mill & Electronic 日本参加なし
2	1977 年 1 月	Chicago, Conrad Hilton Hotel	2	1	0	1	7	0	Mill & Electronic 日本 1 件
3	1980 年 4 月	Annapolis, Annapolis Hilton Hotel	5	2	0	6	3	2	Strip Plating のみ 日本 1 件
4	1984 年 5 月	Chicago, The Hotel Continental	1	1	0	13	3	1	Strip Plating のみ 日本 5 件

* 日本鋼管(株)中央研究所